

*Kidded* の定義を巡って  
—言語変化と文化相—

竹中裕貴

## 0. はじめに

古くは言語学者ソシュールが指摘するように、ことばは常に変化を免れることはなく、英語もその例外ではない。変化のないことばがあるとすれば、それは死語のみであろう (Crystal 2007:149)。本稿では、英語という言語のなかで、すでに姿を消してしまった特殊表現 *kidded* を取り上げ議論する。絶え間なく続く言語変化の中で廃れてしまったこの特殊な表現の意味と、この表現を一時的にとはいえ可能にした背景文化を明らかにすることで、言語変化には、言語構造的な側面のみならず、その変化を誘導する社会文化的な要因が存在していることを改めて示したい。また、*kidded* という表現を取り上げる上で出発点となったのは、Web上の類義語辞書の用例であったが、量的に豊富なデータが蓄積されているインターネット上の辞書の、質的な側面からの問題点・危険性も指摘しておきたい。

## 1. *Kidded* を考える

### ▶ KIDDED ◀

#### Synonyms for Kidded:

##### ◆ ridiculed (verb)

derided, rode, jeered, quipped, humiliated, mocked, deprecated, denigrated, joked, taunted, ragged, ridiculed, mimicked, gibed, scoffed, roasted, jested, insulted, burlesqued, sneered, caricatured, razed, ridden.

#### Usage examples :

*He lays his white- **kidded** hand on the region of his heart, and bows profoundly.*

"A Terrible Secret", May Agnes Fleming.

*They'd get into it, not because the sector chief had babied them along, **kidded** them, coaxed them, but because, as surely as his name was Bill Hayes, some unprintable E would ask a question for which they had no answer.*

"Eight Keys to Eden", Mark Irvin Clifton.

*Judd had been **kidded** and made fun of until he was followed about by a troop of youngsters who thought he was a clown employed by the fair people.*

"Over the Line", Harold M. Sherman.

*He wasn't in the mood to be **kidded**.*

"Over the Line", Harold M. Sherman.

現在では、新聞や雑誌、さらには小説やテレビなど様々な媒体から英語表現のデータが収集され、コーパスとしてまとめられており、その検索も容易なため、英英辞典や英和辞典のみならずインターネット上の検索サイトなどでも、膨大なデータを用いて用例が豊富に載せられている。量的な面では、多様な英語に容易にアクセスできるようになったことは大変重要で価値のあることである。しかし同時に、辞書とは言え、インターネット上のコーパスなどには、やはり様々な問題がかねてから指摘されている (cf. Curzan and Adams 2012: 56-57)。

まず、上の資料を見られたい (<http://www.synonymof.com/kidded>)。類義語を簡単に調べることのできる *SynonymOf.com* (<http://www.synonymof.com/>) というウェブサイトの検索結果であるが、そこには上記のように、動詞 *kid* の過去形・過去分詞である *kidded* についての項目が見つかる。以下では、まず、*SynonymOf.com* によるデータを吟味したい。

### 1.1. *kidded* の類義語とその用例

*Kidded* の類義語としては、以下の (1) が現れる：

- (1) derided, rode, jeered, quipped, humiliated, mocked, deprecated, denigrated, joked, taunted, ragged, ridiculed, mimicked, gibed, scoffed, roasted, jested, insulted, burlesqued, sneered, caricatured, razzed, ridden

また、これに続く Usage examples では、具体的な使用例提示されており、以下の通りである (例文中の下線ならびに検索結果に表れない出版元や出版年数については、筆者による補足である)。

- (2) a. He lays his white-kidded hand on the region of his heart, and bows profoundly.  
—May Agnes Fleming, *A Terrible Secret*, G.W. Carleton, 1874  
([https://archive.org/details/cihm\\_17011](https://archive.org/details/cihm_17011))
- b. They'd get into it, not because the sector chief had babied them along, kidded them, coaxed them, but because, as surely as his name was Bill Hayes, some unprintable E would ask a question for which they had no answer.  
—Mark Irvin Clifton, *Eight Keys to Eden*, Wildside Press, 2008
- c. Judd had been kidded and made fun of until he was followed about by a troop of youngsters who thought he was a clown employed by the fair people.  
—Harold M. Sherman, *Over the Line*, The Goldsmith Publishing Co., 1929
- d. He wasn't in the mood to be kidded. — *Ibid.*

類義語としてあげられている単語群から、この *kidded* の原形である動詞 *kid* の意味は明らかであるが、以下、英和辞典と英英辞典の動詞としての用法を確認しておく。

- (3) a. **verb (-dd-) (informal) 1** [I,T] (usually used in the progressive tenses) to tell sb sth that is not true, especially as a joke **SYN joke** (中略) [T] to allow sb/yourself to believe sth that is not true **SYN deceive** — *OALD8*, s.v. **kid vt**
- b. **vi (-dd-) 1** <ヤギ・羚羊などが> 子を産む **2** <<口>> だまкруかす, からかう <*about, around, on*, <<北イング>> up> — 『リーダーズ英和中』, s.v. **kid<sup>1</sup>**

上記 (3b) の「<ヤギ・羚羊などが>子を産む」の意味は、提示された類義語を考慮すれば除外される。ここで適当な意味となるのは、辞書の定義を借りるなら、間違いなく「冗談を言う」や「からかう」であり、この *SynonymOf.com* には、この意味での類義語が載っていることになる。

## 1.2. *kid* の表す意味の考察

では、もう一度、(2) の *kidded* の用例を検討したい。用例中ではそれぞれ、過去完了形に現れる過去分詞 (2b), 受動態の過去分詞 (2c, d) であり、コンテキストはそれぞれ違うが、問題なく、類義語群から推測される *kid* の意味に即した例文の提示である。

しかしながら、(2a) はどうであろうか。これは、カナダ人の著者 G.W. Carleton によるもので、問題となるのは *kidded* を含む以下の名詞句である。

### (4) his white-*kidded* hand

(4) では、*hand* を修飾していることから、ここでは、動詞 *kid* の過去分詞が形容詞化したものであると考えられるが、*white* とハイフンで結ばれ、「形容詞+形容詞」で連結された複合形容詞 (compound adjective) のようになっている。ところが、*kid* の「冗談を言う」や「からかう」という意味から推測し、強引に「彼の白いからかわれた手」と解釈してよいものでしょうか。小説の前後に、冗談やからかいの描写はなく、このままでは、特に色彩語 *white* と *kidded* の意味的つながりが不明である。すなわち、(3) で示されたような従来の動詞 *kid* からの派生であるとは到底考えられないのである。

この不思議な *kidded* については、現在ほとんどの辞書において、適切な意味で語彙項目として登録されているものはない。筆者のアメリカ英語を母国語とするインフォーマントへの調査でもこのような用法を見聞きしたことのある者は見つからなかった。

では、どのような意味として解釈しておけば良いのだろうか。この奇妙な振る舞いをする表現は、まず、以下のような辞書の記述から推測するのが妥当であると考えられる。

- (5) a. *n* **1a** a young goat **b** a young individual of various animals related to the goat **2a** kidskin <*shoes made of ~*> **b** the flesh of a kid **3 informal** a child; *also* a young person (eg a teenager)—see also **with kid** GLOVES [ME *kide*, of Scand origin; akin to ON *kith* kid] —**kiddish** *adj* —LDEL, s.v. **kid**
- b. **4** キッド革, 子ヤギの革 (kid leather); ((~s)) (手袋・靴などの) キッド革製品: a book bound in *kid* 革装の本 — 『ランダムハウス英和大 2』, s.v. **kid**

いずれも、名詞としての用法であるが、*hand* を修飾でき、かつ、*white* と意味の通る語を形成することが可能なのは、「キッド革の手袋」を意味する *kid* である。(4) はすなわち、以下の (6) の英語表現を、名詞 *kid* を臨時的に品詞転換することによって短縮した表現であると考えるのが妥当である。

- (6) his hand, covered in a white glove made from a small goat (a kid)

したがって、「白いキッド革の手袋をはめた手」と解釈するべきである。これを直接裏付ける *kidded* の定義と用例 (7a) ならびに関連表現 (7b, c) が *OED2* に見られる。

- (7) a. **kidded**, *a.* [f. *kid* *n.*<sup>1</sup> 3 + -ED<sup>2</sup>.] Covered or furnished with kid-gloves  
**1879** Cable *Old Creole Days*, 'Tite Poulette (1883) 52 The manager waited too, rubbing his hat and brushing his clothes with the tips of his kidded fingers.  
(s.v. **kidded**)
- b. **kid-glove** *v. trans.*, to cover (the hands) with kid-gloves (s.v. **kid glove**, **kid-glove**)
- c. **kid-gloved** *a.*, wearing kid-gloves (s.v. **kid glove**, **kid-glove**)

(7b,c) については、それぞれ、1848 (8a), 1859 (8b), 1860 (8c), 1899 (8d) 年の用例が収録されている。

- (8) a. Dancing and pressing the fingers kid-gloved of a Lady Maria.  
b. You can descry a kid-gloved hand, with rings outside the glove.  
c. The richer part of the community that..kid-glove their hands.  
d. He was always somewhat of a kid-gloved gentleman.

このような *kid* の品詞転換の例はわずかではあるが、さらに今回の調査で発見できたものについて、以下に用例を記しておく。

それぞれの場面は、(9e)のみ、もともとはインタビュー記事であったものが引用されて使われているが、その他のものは、すべて小説の一場面である。<sup>1)</sup> さらに年代を確認すると、(9d)が1900年代後半であるが、それ以外は、1800年代中盤から1900年代前半のものであることが分かる。そして、(9a-d)の著者はイギリス人であり、(9e)はオーストラリア人が著者である。

- (9) a. She lowered a plump, white-kidded hand to her lap, as if, providentially, there all the circumstances lay.

—Walter de la Mare, *Memoris of Midget*, Telegram Book, 1922

- b. “We are beaten,” said Mr. Hornblow, very good-naturedly.” We may take our flag down. Mr. Woolcomb, I congratulate you.” “I knew we should do it,” said Mr. Woolcomb, putting out a little yellow-kidded hand.

—William Makepeace Thackeray, *The Adventure of Philip*, Cornhill Magazine 1861-2

- c. ... was it not provoking that of all days in the world young Hely should ride up to the house on his capering mare, with his flower in his button-hole, with his little varnished to-tips just touching his stirrups, and after performing various caracolades and gambadoes in the garden, kiss his yellow-kidded hand to Mrs. General Baynes at the window, ...

—*Ibid*

- d. ... then vanishes out of sight beneath an overhanging stone portecochere or archway, whither Mr. Jones, his dapper feet tortured by the stones, his yellow-kidded hands extended to save his nose from collision with the wall, follows her. —Annie Edwards, *A Vagabond Heroine*, Sheldon & Company, 1873 (<https://archive.org/details/avagabondheroin00edwagoog>)

- e. [w]hen my time came to be close to her and grasp her little kidded hand, I did and looked straight into her eyes and I just said ‘Fascist’ and turned and disappeared into the crowd ... it happened spontaneously. If I’d thought about it, I wouldn’t have done it. (Maggie Huggup, Transcript of Interview, 9 Aug 1995, UQFL193, Box 17) ([https://www.library.uq.edu.au/fryer/worth\\_fighting/6.html](https://www.library.uq.edu.au/fryer/worth_fighting/6.html))

数は少ないものの、現代英語には見られない表現が、過去、イギリス英語を中心とした小説で用いられていたことが分かる。<sup>2)</sup>

### 1.3. その他の用例と表現を生み出す社会背景

以上、用例をあげながら、*kidded* の意味が、「キッド革の手袋をはめた」という限定形容詞として一時的に変化を遂げていたことを示したが、その変化の原因を考える場合、英語という言語が、ゼロ派生による品詞転換や、接辞付加による派生表現を容易に生み出す言語的構造をもつことのみならず、同時に社会文化的な背景も合わせて考えなければならない。言語変化は常に、言語構造とその背景文化に支えられているものだからである。

本稿で問題として取り上げた *kidded* について考えると、上述したように、(2a) はカナダ人作家、(9a-d) の著者はイギリス人、(9e) はオーストラリア人によるものであり、(8) の用例を合わせても、1800年代中盤から1900年代前半にその用例を最も多く確認できた。この事実は、以下の(10)のイギリスのヴィクトリア朝文化と併せると、その変化を許容した当時の文化的背景が浮かび上がる。

(10)



W.ホリオーク〈オペラ劇場の最前列にて〉1875年頃 グラスゴー、ケルヴィングローヴ美術館蔵 男性も女性も手袋を着用したままオペラを鑑賞している

十九世紀のあるエチケット事典には「御婦人方は散歩や馬車で外出する際、またお茶やダンス、舞踏会、晩餐会、オペラや劇場などの場で、手袋を着用すべきである。男性諸氏は街角や舞踏会で、また知人宅や教会を訪れる際や、馬や馬車に乗る際に手袋を着用すべきである」とあり、屋外はいうに及ばず、室内でもお茶のときなど良家の婦人が素手でティー・カップを手にすることは、はしたないと考えられていたことがわかる。当時、上流の女性たちは、家庭の中でも往々にして手袋を

着用していたが、それはかの女たちが家事労働のいっさいを召使いたちに任せ、自ら手を煩わせる必要のない身分であることを示すものであった。 —谷田 (2001: 82-83)

このように、ヴィクトリア朝文化を色濃く反映していた時代には、*kid* や *kidded* という単語から、現在では容易ではない「キッド革の手袋」が難なく連想されることができるのであり、この文化的な背景によってこそ、問題となった言語変化は可能となったのである。そして、そのような強い連想による結びつきが希薄となった現代の英語話者には、大変難解な表現となって残っているのである。

## 2. おわりに

以上、具体例をあげながら、*kidded* が「キッド革の手袋をはめた」という限定形容詞としての用法を、一時的とはいえ獲得していたこと、そしてその変化を可能にした当時の文化的事象を明らかにした。

これまでの議論を考慮すれば、改めて、「冗談を言う」や「からかう」という意味の動詞 *kid* の一例として (2a) の *white-kidded hand* は不適切なものであると分かるだろう。膨大にあるコーパスのようなデータから、表面的な語形のみを見て、また、レジスター (*register*) や通時的な側面を無視して用例が取り入れられることの危険性がここにある。集積された有用なデータは、やはり慎重に検討し、量だけでなく質的な側面も考慮しなければならないということである。

現代英語においても、様々な名詞が臨時転換を経て、動詞などに転用されていることは、これまでの『英語の言語と文化研究』で示されている。それが、将来、*kidded* のように廃れてしまうのか、または、さらに多様な言語文化的要素を吸収しつつ、後生に生き残っていくのかということもまた興味深い。今後も、新旧問わず、より多くの言語変化を追い、それらが持つ貴重な情報を分析、記述していきたい。

### 【注】

- 1) (6) の解釈と (7a) の定義を裏付けるように、*kid gloves* というパラフレーズされた表現が (9a) と (9b, c) の用例が見つかった両方の小説内に見ることができる。以下、最初の用例は (9a)、2つめの用例は (9b,c) にそれぞれ対応している。

For Mrs Bowater, a muslin tie for the neck; for herself—after heated controversy —a pair of kid gloves and a bottle of frangipani; and for me a novel.

—Walter de la Mare, *Memoris of Midget*, Telegram Book, 1922

... when Mrs. Twysden's brouche appears by the Serpentine, you may not unfrequently see a pair of the neatest little yellow kid gloves just playing with the reisks, a pair of the prettiest little boots just touching the stirrup, ...

–William Makepeace Thackeray, *The Adventure of Philip*, Cornhill Magazine  
1861-2

- 2) 本稿では, *hand* を修飾し手袋を連想させる *kidded* のみを扱っているが, 下記のアメリカ人作家, Harry Leon Wilson の作品の一例のみ, *a white kidded foot* と足を修飾するものが見つかった。『ランダムハウス英和大辞典 2』が, 「(手袋・靴などの) キッド革製品」と, 靴にも言及していたように, 「キッド革の靴を履いた」と解釈できる場合もあるようである。

He paced the floor while his matrimonial adviser tapped a white kidded foot on the floor, and appeared to read plans of new battle in a mother-of-pearl paper-knife which she held between the tips of her fingers.

–Harry Leon Wilson, *The Spenders: A Tale of the Third Generation*, Lothrop Publishing Company, 1902 (<https://archive.org/details/spendersataleth01wilsgoog>)

## 参 考 文 献

[辞書・論文・研究書]

*Longman Dictionary of the English Language*. Harlow, Essex: Pearson Education. 1984.  
[LDEL]

*Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*. 8<sup>th</sup> ed. Oxford: Oxford University Press. 2010. [OALD8]

*The Oxford English Dictionary*. 2<sup>nd</sup> ed. CD-ROM. Oxford: Oxford University press. 2009.  
[OED2]

『ランダムハウス英和大辞典』小学館. 第2版. 1994. (『ランダムハウス英和大2』)

『リーダーズ英和辞典』第3版. 研究社. 2013. (『リーダーズ英和3』)

Curzan, Anne and Michael Adams (2012), *How English Works: A Linguistic Introduction*. 3<sup>rd</sup> edition. Boston: Longman.

Crystal, David (2007), *Words Words Words*. Oxford: Oxford University Press.

谷田博幸 (2001), 『ヴィクトリア朝百科事典』第1版. 河出書房新社.

[インターネット資料]

*Internet Archive* [https://archive.org/details/cihm\\_17011](https://archive.org/details/cihm_17011)

*SynonymOf.com* <http://www.synonymof.com/>

(たけなか ゆうき・島根大学外国語教育センター准教授)